

登録コード	HM129900	開講年度	2026			
授業題目	法医学論文演習				担当教員	浅村 英樹 他
英文授業名	Thesis Seminar in Legal Medicine				副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				法医学分野で優れた論文を理解し、内容を説明できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	医学データベースを用いて法医学分野に関する論文を検索し、内容を理解し、その内容を第三者にプレゼンテーションすることができる。					
(3)授業の概要 /Overview of course	医学データベースを用いて優れた医学論文を検索する能力を習得する。また、法医学に関する学術論文を読み、法医解剖症例等について死因を検討し、その内容を第三者にプレゼンテーションする能力を身に付ける。					
(4)授業計画 /Course plan	抄読会形式で、医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約し、わかりやすく紹介できる能力を習得させる（第1回から第15回）。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	・成績評価の方法 毎回のプレゼンテーション内容、および、その結果をまとめたレポートによって行う ・成績評価の基準 (i) 課題に対する論文の設定が適切であり, (ii) その論文の背景を説明できており, (iii) その論文にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。 4項目までできていれば「やや上にある（良）」。 3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	南山堂「法医学」改訂4版 監修：福島弘文、編集：船山真人、齊藤一之 全編において熟読し法医学について事前に知識を習得しておくこと。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室への来訪も可。					
(8)授業の形式 /Course format	授業ごとに法医学関連論文を選定し、抄読会形式により行う。					